

広報 しばた



元気で豊かな生活を

8月7日(水)、船迫生涯学習センターで行われた「豊齢者教室」に参加した皆さん。笑顔で元気に運動をしています。9月の第3月曜日は「敬老の日」。柴田町の65歳以上の人口は、11,050人で、町全体の29.3%になります(7月末現在)。高齢社会の中、地域やサークルなどで活躍している高齢者の方がたくさんいらっしゃいます。これからもいきいきと豊かな生活を送り、いつまでも健康でいらしてください。



ベラルーシ新体操ナショナルチーム事前合宿
特集 1
SAKURA CAMP 2019





今年で3回目となる2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたベラルーシ共和国新体操ナショナルチームによる事前合宿（SAKURACAMP2019）が、ホストタウンである柴田町、白石市、東京都立川市で7月24日（水）から8月3日（土）まで行われました。

27日（土）には、仙台大学で公開演技会が開催され、開場の2時間前から熱心なファンが列をつくるなど、会場は約800人の観客で満員となりました。

選手たちは、オリンピック出場権がかかる、9月に開催される世界新体操選手権に向けた演技などを中心に、美しく繊細かつダイナミックな演技を披露し、満員の会場を魅了しました。

来年はいよいよ東京オリンピック。ベラルーシ共和国のホストタウンとして、新体操ナショナルチームの選手たちの活躍を願い、一緒に応援していきます。

問 まちづくり政策課

TEL 54-2111

仙台大学新体操競技部 神野未来監督に話を伺いました。



神野未来 監督

○新体操競技について

個人競技は、東京オリンピックでは、ボール・フープ・クラブ・リボンの4種類の合計得点で競い、演技時間は1分15秒〜1分30秒です。

団体競技は、5人が同じ手具を扱う単一種目と、3対2で手具を扱う複合種目があり、2年に1度手具が変更になります。東京オリンピックは、単一種目はボール5個、複合種目はフープ3本・クラブ2セットで、演技時間は2分15秒〜2分30秒です。

採点方法は、個人・団体競技とも難度(D)と実施(E)の2つで、その合計得点で競います。難度は、得点の制限はなく、規定の数のジャンプ・パランス・ローテーション・投げ技・ダンスステップコンビネーションなどをいかに正確にこなせるかで価値が変わる、加

点方式です。実施は持ち点10.00点からの減点方式で、芸術的欠点と技術的欠点の大きく2つに分かれています。芸術的欠点では、音楽と動きの調和・動きのスムーズなつながりプログラムの多様性などが評価され、技術的欠点では、正確な難度や手具の操作・落下や無駄な移動などが減点項目となり評価されます。

今シーズンの傾向では、各種目で個人競技20.00〜22.00点、団体競技23.00〜25.00点を獲得すれば、世界でもファイナリスト・メダルが狙えると思えます。

○新体操競技の魅力とは

一番は、音楽と動き・手具の調和ではないかと思えます。選手・手具ごとにテーマや表現が違うので、音楽・動き・レオタード・メイク・スタイルなどのトータルコーディネートを見てほしいです。世界上位の選手になると、まばたきをする暇もないほどの多様なテクニックで演技時間いっぱい楽しませてくれます。



- ① 町を表敬訪問。
- ② 観光物産交流館さくらの里での夕食。箸を上手に使っていました。
- ③ 白石市で行われた交流会。私服に着替え、いつもの姿とは雰囲気違います。
- ④ 公開演技会終了後に訪れた太陽の村。らぼるの森での夕食。



○公開演技会について
ガイドウケヴィチ選手
ちよつとしたミスがあり、思い通りに演技できませんでした。ミスを克服して、次の大会に向けた準備を始めています。

○団体演技の魅力について
シェバイバ選手
団体演技は、同時進行でお互いの動きをよく見ながら演技しなければなりません。意思疎通がないとできない

○子どもたちからの千羽鶴や応援旗、歌のプレゼントについて
リバコワ選手
子どもたちはすごくかわいし、私たちのためにわざわざ時間をかけて作ってくれたと思うと、とてもうれしかったです。こういう歓迎は、日本でしか受けたことがありません。

○今後の目標について
リバコワ選手
東京オリンピックに出場し、できればメダルも獲得したいです。まずその第一段階として、9月に開催される大会で、オリンピックの出場権をとりたいです。

○日本の気候、食べ物について
ガイドウケヴィチ選手
日本の食べ物は全く問題ありません。でも気候については、まだちよつときついです。SAKURACAMPは今年で3回目ですが、最初に訪れたのは10月で暑くなかったです。夏の日本の暑さはまだ2回しか経験していません。だから、まだ慣れていません。

○柴田町の印象について
シェバイバ選手
リバコワ選手
残念ながらバスの窓から町を見るのがほとんどでした。でも、自然がとてもきれいだと思います。私たちの国には山がないので、山が特にきれいで感動しました。そして、美しい公園もあり、もつと見てみたいと思いました。

○柴田町民へのメッセージ
リバコワ選手
柴田町の皆さんはすごく親切でやさしいです。町を歩いていると声を掛けてくれる、自分のことを分かってくれるのはとても嬉しいです。

○子どもたちからの千羽鶴や応援旗、歌のプレゼントについて
リバコワ選手
子どもたちはすごくかわいし、私たちのためにわざわざ時間をかけて作ってくれたと思うと、とてもうれしかったです。こういう歓迎は、日本でしか受けたことがありません。

ホストタウン活動を紹介します



公開演技会で選手たちに披露された
応援旗



技会の場
で、チー
ムに贈ら
れました。
また、
榎木中学
校の生徒

榎木、船岡、船迫中学校の生徒が協力し、モザイクアートで応援旗(縦1・86m、横2・44m)を作成しました。8色のペンを使い、点を打ち、雄大な蔵王山と満開の桜並木を背景に、ベラルーシの選手が演技している様子を描いたもので、公開演

小中学生がベラルーシ
チームへ応援旗、千羽鶴、
歌をプレゼント



英語で歌を披露する
東船岡小学校の6年生



選手たちへ千羽鶴を渡す
安藤夢望さん

は、千羽鶴を折り、チームが町を表敬訪問した際にプレゼントしたほか、東船岡小学校の6年生は、公開演技会の際に「さくら(独唱)」を英語で歌い、チームを激励しました。ベラルーシチームのコーチ、選手の皆さんは、子どもたちからのプレゼントを笑顔いっぱい喜んでいました。

ベラルーシチームを
応援します



榎木中学校3年
安藤夢望さん

私たちは、選手の皆さんに最高のメダルを取ってほしいという願いを込めて、千羽鶴を折りました。また、町内の3中学校が協力して、応援旗も作りました。

こうした活動を通して、ベラルーシや新体操について興味を持つようになりました。

柴田町は、自然豊かで、素晴らしい人がたくさんいます。このような柴田町でメダルが取れるよう練習がんばってください。応援しています。

親善大使を委嘱

6月10日(月)、ベラルーシから来日し、仙台大学で新体操を指導するマリア・マカロワさんとダンスを指導するアリーナ・セベツェ



役場で行われたパネル展

6月3日(月)から7月24日(水)にかけて、役場および各生涯学習センターで、「ベラルーシ共和国新体操ナショナルチーム応援パネル展」を行いました。新体操の競技用具の展示や演技会の様子を紹介し、ベラ

パネル展を開催



親善大使のマカロワさん(右)とセベツェさん

さんを親善大使として委嘱しました。委嘱期間は、オリンピック終了までで、その間、お二人には、町の行事などに参加してもらい、東京オリ



ボールの種目に挑戦する生徒たち

7月4日(木)と5日(金)、新体操の魅力を伝え、オリンピックへの関心を高めてもらおうと、船岡、榎木中学校で仙台大学新体操競技部による出前授業が行われました。部員による、個人・団体の演技が披露され、船岡中学校では、生徒たちの新体操体験会も行われました。生徒たちは、手具の扱いに悪戦苦闘しながらも、楽しそうに体験していま

仙台大学新体操競技部 による出前授業



特集
2

「ザ・フェスティバルinしばた2019」

夏の暑さを吹き飛ばす しばたの熱い一日

8月3日(土)、「ザ・フェスティバル in しばた2019」が陸上自衛隊船岡駐屯地内で開催されました。柴田町の夏を代表するこのイベントも今年で17回目を数え、約9,200人の来場者で賑わいました。

よさこいの壮麗な演舞で祭りの幕が上がると、陸上自衛隊による太鼓演奏、祭友会の神輿渡御などの催し物で会場内が大いに盛り上がり、クライマックスの打ち上げ花火では2,000発もの大輪が、柴田の夏の夜空を彩りました。

問まちづくり政策課 Tel54-2111







ふるさと夏祭り(30区)

日8月3日(土) 所 西住児童館広場



お雛子では、3年生のときから唄を担当していました。本番前は、心臓がバクバクして心配だったけど、練習してきたとおりにできました。最高学年らしい、すばらしいお雛子を披露することができて良かったです。



伊藤 愛華さん
(西住小6年)



夏まつり(12B区)

日8月10日(土) 所 剣水集会所



「地域の風景」

しばたの夏まつり
町内の各地域で盛大に行われた夏まつり。それぞれに趣向を凝らし、すべてが地域の皆さんの手作りのお祭りは、子どもから大人までみんなが楽しめる夏の風物詩です。お雛子の音色に合わせて踊った盆踊り。美味しそうな焼き鳥、焼きそば、子どもが大好きなかき氷や水ヨーヨーの出店の数々。今年もたくさんの方の夏の思い出となったお祭りを紹介します。



平間 敏彦さん

5年ほど前に町内の別の地区から引越した。その時から、夏まつりの手伝いをしています。今年は、初めて役員として参加し、フランクフルトのブースを担当しました。子どもみこしやスイカ割り、地域で活躍しているサークルの皆さんのダンベル体操やダンスの披露、盆踊りや最後に大抽選会など、この夏まつりは盛りだくさんの内容が特徴だと思っています。毎年、他の地域の方もたくさん来てくれてとても賑わいます。何より、私たち役員や実行委員、参加者がみんな和気あいあいと楽しくやっていることがこの夏祭りの良いところですね。



区民盆踊り大会(18A区)

日8月13日(火) 所 四日市場沖集会所



齋藤 今日子さん

このお祭りには子ども頃から参加しています。地域の方がみんなで協力してお祭りの準備をして、子どもたちがたくさん集まる光景は、ずっと変わっていません。私も毎年、このお祭りを楽しみにしていました。

みんなで作るといのが、このお祭りの良さなので、今と変わらずいつまでも続いて欲しいと思います。



土手内夏祭り(9A区)

日8月4日(日) 所 土手内公園



あぶくま子供会育成会「夏まつり」(16区)

日8月14日(水) 所 下町集会所



夏フェス

日7月10日(水)、11日(木) 所 西船迫保育所





158

柴田町長 滝口 茂

9月会議は決算会議とも言われ、平成30年度に実施した各種事業の実施状況や、その成果について審議が行われます。

ここで改めて、政策が決定され、事業が実施されるまでの過程を申し上げます。

初めに、地域が抱える課題や住民からの苦情や要望などを踏まえ、それらを解決するための最適な政策や事業を立案(Plan)します。次に、国や県の支援事業を活用しながら事業を執行(Do)し、1年を経過した後に評価(Check)を受けることとなります。そこで、反省すべき点や改善すべき点があれば、次の政策を立案する際に反映させていく(Action)といった、いわゆる「PDCAサイクル」に基づき事業を展開しています。

平成30年度の予算編成過程で苦慮したことは、全ての小中学校校舎へのエアコンの設置やトイレの洋式化を行うかどうかでした。その際、頭をよぎったのは、住民から寄せられた数多くの苦情や要望の解決に相当な財源を用意しなければならぬ中で、新たに約8億円余りの財源を用意できるのだろうかという不安でした。

しかし、これは「案ずるより産むが易し」

健全な行財政運営

で、本来、学校施設を整備する際には、町が2/3の費用を負担しなければならぬのですが、今回は、国の交付金などが活用でき、1/3だけの負担で実施できることになりました。幸運は続くもので、今年度の当初においても、東船岡小学校、西住小学校、柴田小学校、船迫中学校の大規模改修工事が国から一気に認められました。今後、小中学校全校へのエアコン設置やトイレの洋式化、さらに、大規模改修工事など、子どもたちが快適な環境の中で学習ができるよう工事を急ぎたいと思っております。

このように今年度は、平成30年度からの繰越事業を含めて、約18億円余りの大型の公共事業を実施するわけですが、一方で、30年度決算においては、普通預金(財政調整基金等)に柴田町始まって以来最高額となる約17億円を、定期預金(総合体育館、新図書館、学校給食センター建設のための目的基金)に約9億5千万円を確保することができました。そうした点からすれば、おおむね健全な行財政運営ができていのではないかと思います。

これからもPDCAサイクルのもとに、町独自の政策提案を行い、国や県の資金を積極的に活用しながら、効果が上がる事業の展開を心掛けてまいります。

芸術空間

Shibata Art Gallery
No.5

『只見川』(水彩画)

保科 毅



ここは、南会津を国道沿いにゆったりと流れる只見川です。山あいを縫うように流れるため、兩岸にあまり土手などなく、山形県の最上川と同じで、絵になる川として私の好きな風景です。これまで幾度も見ていた川ですが、7月の藤崎デパートギャラリー個展のために描きました。季節は今年の6月上旬です。(文 保科毅)



保科 毅(ほしな たけし) 1942年中国 旧満州生まれ。船岡中央在住。

●主に仙台で、グラフィックデザイナー、イラストレーターを経て61歳から本格的に水彩画の世界に。絵は独学。絵画教室を地元船岡、蔵王町で主宰する傍ら、船岡、蔵王町、丸森町、七ヶ宿町、仙台市などで個展を開催。

柴田町名誉町民・旭日中綬章 前柴田町長

平野 博氏逝去 九十七歳

8月18日(日)午後3時42分、柴田町名誉町民で、前柴田町長の平野博氏が逝去されました。

平野氏は、昭和53年7月、柴田町の4代目町長に就任されました。以来、6期24年の長きにわたり在職し、卓越した識見と強いリーダーシップを発揮し町政を担いました。柴田大橋や槻木大橋の開通、さくら船岡大橋建設への着手、JR船岡



駅舎・槻木駅舎の完成など交通網の整備、高層町営住宅や全国第1号の優良田園住宅「ゆずが丘」などの住宅地づくり、下水道事業の推進など、本町の都市基盤を築きました。農業振興では農村総合モデル事業の展開をはじめ、県議会議員時代から取り組まれた土地改良区の設立など農業農村整備に努め、さらに自然休養村「太陽の村」の整備により都市と農村の交流を進めました。町の人口も着実に増加し、まちづくりの基本は教育であるという観点から、船迫小学校、東船岡小学校、西住小学校を開校しました。さらに生涯学習社会の実現を目指し「1

小学校区、1公民館、1コミュニティ」を唱え、公民館や集会所、ふるさと文化伝承館などの施設整備・充実に努めました。女性の社会進出の広がりとともに、平成10年に「男女共同参画都市宣言」、さらに仙台大学や柴田高校の立地を生かし、平成11年には「スポーツ都市宣言」を行いました。

平野氏の實力は町内のみに収まらず、村田町、大河原町との共同推進事業協議会の発足、病院建設のための大河原町外1市2町保健医療組合の設立に尽力されました。また、平成7年から6年間、全国町村会副会長などの要職を歴任し、全国の町村が抱える共通課題の解決に取り組みました。昭和

和57年から平成14年までの20年間は、全国工業再配置促進連絡協議会会長などの要職を歴任し、地域経済の確立と魅力ある地域社会建設のため、地方の自立的発展に多大な貢献をされました。

温厚にして篤実、人格高潔にして明朗、決断力と実行力に富み、確固不動たる信念を持たれ、地域住民の信望は厚く、人々に尊敬、信頼されその指導力は、衆人の認めるところでありました。柴田町長として、仙台圏域と仙南圏域を結ぶ中核都市建設を目指し、豊かで住み良い町づくりをテーマに、安全で利便性に優れた快適な生活拠点としての機能はもとより、政治、経済から教育、文化、福祉にわたる諸々の都市機能を高め、町の発展と町民生活の向上に尽力されたことから、本町で初の名誉町民となりました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

問 総務課 TEL 55-2111

告 告

告 告

まちかど NEWS



約600人が訪れ、熱気溢れる1日となりました。



お客さんと一体となったステージを披露していました。

バンドフェスタinしばた

NEWS

8月18日(日)、柴田町太陽の村で、「第19回バンドフェスタinしばた」が行われました。厳しい暑さの中、町内外の15組のバンドが、その暑さを吹き飛ばすようなサウンドを響かせ、会場を盛り上げました。

息子さんと2人で参加したマービーズの本間慎治さん(船岡字七作)は、「暑い中ででしたが楽しくできました。お客さんもフレンドリーで大好きなイベントです」と話し、親子で息の合った演奏を披露していました。

柴田町企業情報ガイダンス初開催

NEWS

7月19日(金)、ホテル原田で地元での就職を希望する県南地域の高校生を対象に「柴田町企業情報ガイダンス」が開催されました。

地元企業の魅力をPRすることで、町外への優秀な人材の流出を防ぎ、地元での就職を促すことを目的にしたもので、町内の企業15社と高校生61人が参加しました。

生徒の皆さんは、就職を希望する企業のブースで担当者から業務内容や採用予定などの説明を熱心に聞いていました。



企業の担当者は、高校生の就職したいという強い気持ちを感じたようでした。

広 告

広 告

原田榮さんの100歳をお祝い

常盤園(西船迫)に入所されている原田榮さんが、8月1日(木)に100歳を迎えられました。

100歳のお祝い会では、施設利用者の皆さんとスタッフからお誕生日をお祝いする歌のプレゼントが贈られると、「こんなに盛大にお祝いしてもらえて、本人も喜んでいと思います」と榮さんの代わりにご親族の方が感謝を述べられました。いつまでもお元気でいてください。



長年、農業一筋で生活してこられたそうです。

認知症を知る講演会

8月3日(土)、槻木生涯学習センターで、「第10回認知症を知る講演会」が開催されました。認知症の専門医である、みはるの杜診療所(仙台市)の石原哲郎院長が講演を行い、「認知症にかかった本人が治療・支援の主体である。本人の声を聞きながら、これからの生活を考えることが大切です」と述べていました。

参加者からは、「認知症のことをとても前向きに考えられました」という声が聞かれました。



認知症を知り、みんなで考える重要性を学びました。

しばたまち平和の祭典

8月4日(日)、槻木生涯学習センターで、「第10回しばたまち平和の祭典」が開催され、NPO法人地球のステージ代表理事の桑山紀彦氏による公演が行われました。

桑山氏は、国際医療支援活動で訪れた南スーダンやパレスチナなどで出会った人々との交流の様子をライブ音楽と映像、語りで伝えました。

阿部昭子さん(槻木)は、「ステージから強烈な印象を受け、歌詞は心に響きました。世界で起きていることも身近な問題だと考えさせられました」と話してくれました。



紛争地でもたくましく生きる子どもの姿などが紹介されました。

告 白

告 白



こうほう 文芸

短歌

大島の木立の中の仮設には
 八年すぎても人の住みけり
 友が病み早い快復願いつつ
 パワーよ届けと祈りを込めて
 母の里鎮守の森の宵祭
 ガス灯照らす出店の仮面
 西船迫 下浦 智子
 四日市場 鳥井崎七十老

バイパスのピーポの音聞く度に
 「大丈夫かな」と孫心配す
 なつかしきいっばい溢れて庭先に
 松葉牡丹は思い出語る
 本船迫 森田 眞六
 船岡 沢田 順子

川柳

ケアホーム野ぶとき声に怖じ気つき
 身中のバイ菌どもがおお暴れ
 夕食に一品作りほめられる
 下名生 笠松ふみ子
 四日市場 鳥井崎七十老
 西船迫 安ヶ平良三

夏の空天気良すぎて白くなり
 友からの絵手紙玄關照らしてる
 竿売りのうつつに流す昼寝かな
 西船迫 H・G
 船岡 阿部美代子
 梶木 加藤 マサ

俳句

肉体の隅の隅まで月夜かな
 秋蒔の這ひたるごとの翁かな
 鱗雲出でてさだまる威王かな
 髪切つて山近くなる今朝の秋
 浮世絵のひそと仲見世虫しぐれ
 錠剤の数確かむる今朝の秋
 もう帰ることなき津軽盆の月
 石母田星人
 鎌形 清司
 齋藤 善則
 鈴木 三山
 鈴木 清子
 鈴木 幸子
 相馬カツオ

晩鐘の終はれば終はる秋夕焼
 祖母となり秋の参観急ぎ足
 燕の子巢立つ導く親鑑
 潮枯れの松の下草うつぼぐさ
 いっせいに鳴きやむ蟬の不思議かな
 夕立後名知らぬ草花に図鑑みる
 峠 三枝子
 吉田 啓子
 平間 三郎
 船岡 可沼 妙子
 西船迫 安ヶ平奈津枝
 船岡 安藤 節子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで9月10日(火)まで応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

我が校の誇り



東船岡小学校

県内初のコミュニティ・スクール



東船岡小学校は、昭和63年4月に開校した歴史の浅い学校ですが、本校は何と言っても、平成19年4月より学校運営協議会設置校、いわゆるコミュニティ・スクールに県内で初めて指定された学校で、現在に至っています。

本校では、開かれた学校づくりを推進するために、学校を中心とした地域ぐるみの教育の充実に努めています。地域の皆さまからは、「おらほの学校は、おらほで守る。おらほの子どもは、おらほで育てる。」という意識で学校を応援していただいています。具体的には、読書支援は青空時計台

(図書ボランティア)の皆さま、防災安全支援は東船岡見守りタイの皆さま、学習支援は地域の農家の皆さまと仙台大学の学生(未来先生)とたくさんの方々に協力をいただいています。本当にありがたいことです。

学校としては、学校の教育活動を皆さまに知っていただくために「東船岡小日記」というプログラムの充実を図り、保護者だけでなく地域のたくさんの方々にアクセスしていただいています。



すてきな歌声が響く学校

本校に招いた演奏家の方が、子どもたちが知っている曲を演奏すると、子どもたちは自然に反応して歌い出します。それが一度や二度ではないのです。来賓の皆さまも他の学校の子どもたちには見られない反応だと驚かれます。

朝会では毎回校歌を歌います。音楽発表会や卒業式での歌は、来賓の皆さま、保護者の皆さまに感動を与えています。昨年度の音楽発表会にシンガーソングライターの伊東洋平さんをゲストとしてお呼びしたときにも、「子どもたちの歌声がきれいで、感動しました。」というお褒めの言葉をいただきました。

7月にベラルーシ新体操ナショナルチームが仙台大学でSAKURA CAMPを行いました。公開演技会の歓迎セレモニーの中で6年生の有志が「さくら」(英語バージョン)を披露しました。

東船岡小学校の子どもたちは歌が本当に好きなのだと思います。

ノー原稿、ノーマイク、そして、全力投球応援団

子どもたちは、学校行事や集会の中で発表するとき、1年生から6年生まで全員がノー原稿、ノーマイクで堂々と話をします。見ていていつもすごいなと思います。

また、運動会恒例の応援合戦は、紅白対抗ですのでお互いに工夫を凝らし、最初から最後まで全力投球です。とにかく体全体で声を出しています。来賓の皆さまは、子どもたちの声を振り絞っての応援を一番に褒めてください。閉会式での成績発表では、負けた方は悔し涙、勝った方はうれし涙、いずれにしても涙が見られるというのは、それだけ全力で取り組んだからだと思います。



地域の力、家庭の力、そして、教師の力

子どもたちの成長には、地域と家庭の力が欠かせません。でも、先生方の頑張りも忘れてはなりません。これからも3つの力の一つにして東船岡小学校の子どもたちの健全育成に努めていきます。

〔東船岡小学校長 山本英造〕

広 告

広 告

細やかな気配りで、お客様に喜んでいただけるように

株式会社エネサンス東北柴田支店
 畑田 佳恵さん (24歳)

今回は、LPGガスなどの販売や、住宅設備の販売、住宅新築工事などを行い、生活総合産業を目指す株式会社エネサンス東北柴田支店の畑田佳恵さんを紹介いたします。



入社2年目の畑田さんの担当業務は、LPGガスの検針や利用料金の集金、定期点検のほか、家庭用の給湯器やLPGガスなどの販売・設置工事、キッチンなどのリフォームの提案など多岐にわたります。

「入社した頃は工事まで行うとは思っていなかったで、とても不安でした。それでも、先輩に付いて作業を覚えていくうちに仕事の面白さが分かってきました」と当時を振り返ります。

どのような工事を行っているのか伺うと、「給湯器の設置であれば、安全面に気をつけながら取り付けるのはもちろんですが、配管が家の外観を損なわないように完成後の見栄えを考慮して敷設する場所を考えます。必要であれば、配管に塗装して目立たなくしたりもします」。また、「キッチンのリフォームでは、家事を行う部分は女性が使うことが多いので、同じ女性の視点を活かして、動線を意識した使いやすいレイアウトを

ご提案しています。相談されるお客様も女性の方が多いので話しやすいと言っていただけなのが嬉しいですね」と話してくれました。

「負けず嫌いな性格で、同期が営業で成績を残す中、思うように仕事ができず、とても悔しい時期もありました。信頼していただけなければ仕事を任せてもらうことはできないことに気付き、今は焦らずお客様一人一人に満足していただくとともに、以前お世話になったお客様には、用が無かったとしても何か困ったことがないか声掛けするなど、気軽に相談していただけるような関係をつくれるよう心掛けています」と仕事に対する思いを話してくれました。

最後に、就職して初めて柴田町を訪れたという畑田さんに町の印象を伺うと、「私がミスをした際に、逆に気遣ってくださるなど、距離感が近くて優しい方が多いですね」と笑顔で話してくれました。これからも頑張ってください。



ガス漏れの点検を行う畑田さん。



株式会社エネサンス東北
 柴田支店
 柴田町大字船岡字川端129
 TEL 55-2821

平成15年設立(本社仙台市)。
 ガス・電気などのエネルギーの販売、住宅新築工事、住宅設備の販売、リフォームなど幅広い分野を手掛ける生活総合産業を目指している。
 従業員18人。

人口と世帯数
 (令和元年8月1日現在)



37,776人
 (前月比7人増)



18,854人
 (前月比16人減)



18,922人
 (前月比23人増)



15,874世帯
 (前月比8世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。